



教員という仕事って？

常滑市立三和小学校長 岩月 浩子

教員という仕事について、どのようなイメージがあるのでしょうか？ニュースなどで教員という仕事についてさまざまなことがいわれています。そこで、三和小学校の担任の先生がどのように考えているのかその一部を紹介します。



A担任

数年間にわたって、子どもたちの成長がみられるのが教員の一番の魅力だと思います。子どもから学ぶことも多く、大人が考えていることがすべてではないともあります。そして、毎日子どもたちと一緒に給食を食べられることもいいです。

子どもたちと過ごしていると、感動を味わったり、共感をしたりすることがたくさんあります。予想や想定を上回る成長をすることもあります。こういった感情を動かされる瞬間を数多く味わうことができるのが教員の一番の魅力です。



B担任

心がけていることもあります。



C担任

子どもたちがハマっていることを知るようにしています。できるだけ子どもと同じ目線になるようにして話を聞いたり、子どもたちの考えていることを知るようにしたりしています。

いつも笑顔で明るく過ごすようにしています。私たちが疲れた表情でいたり、元気がない様子だったりすると子どもは不安になります。担任の影響は大きいと思います。どんなに疲れていても子どもたちの前ではそれを出さないように心がけています。



D担任



E担任

言ったことがブレないようにしています。どのように言ったら子どもたちに思いが伝わるかを考えて話をしています。

ここでは一部の先生の考えていることを紹介しましたが、三和っ子がよりよく育ち、これからの時代を生きていくことができるように職員みんなで考えています。毎日、明るく元気な姿で教育活動を行い、よりよい教育活動ができるようにさまざまな見直しも行っております。今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

児童会活動・児童会選挙

9月18日(木)、令和7年度後期児童会役員選挙を行いました。その後の朝会で、後期から新しく児童会役員・学級委員になる児童の任命式を行いました。児童会役員・委員長は学校のために、学級委員は学級の代表として、それぞれの活躍を期待しています。



【後期児童会役員】



【後期学級委員】

9月27日(土)、三和っ子育成協議会による「三和っ子フェスティバル」が開催されました。子どもたちはペアの児童と一緒に各コーナーを巡っていました。新しい体験コーナーも加わり、笑顔で楽しんでいる様子が見られました。また、今年も昨年度に引き続き、災害時に三和小体育館が避難所になることを踏まえて、豚汁の炊き出しを行いました。地域の方々のおかげで、子どもたちにとって心に残るイベントになりました。

〔三和っ子フェスティバルにご協力いただいた参加団体様〕

矢田コミュニティ・久米コミュニティ・前山コミュニティ・三和小PTA・おやじの会・スポーツ愛好会・ボーイスカウト・ガールスカウト・青海ビッグウェーブス・炊き出し担当・ボランティア(順不同・敬称略)